



Press Information

VPR07-030

2007年6月25日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲンの「自動車リサイクル法」に基づく2006年度再資源化等の実績について

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社(代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市、略称:VGJ)は、2005年1月から施行された自動車リサイクル法※1に基づき、2006年度(2006年4月1日～2007年3月31日)の特定再資源化等物品(ASR※2、エアバッグ類、フロン類)3品目の再資源化状況について、下記の通り報告いたします。自動車のASR・エアバッグ類・フロン類の3品目につきましては、適正処理・再資源化に関わる業務を、お客様から預託を受けたリサイクル料金によって行なっています。弊社では本年も昨年に引き続き、ASRリサイクル率が63.7%と法定基準('05～'09目標30%)を上回る実績で推移しています。今後も引き続き弊社では、自動車リサイクル法に沿った処理を確実かつ円滑に実施し、持続可能な循環型社会の構築に前向きに取り組んでまいります。

※1. 正式名称=「使用済自動車の再資源化等に関する法律」

※2. ASR: **A**utomobile **S**hredder **R**esidue (自動車シュレッダーダスト)

【再資源化を実施すべき量に関する基準の遵守状況】

● ASR(シュレッダーダスト)

シュレッダーダストリサイクル率	63.7%
引取シュレッダーダスト量	4,336.9t
委託全部利用引渡しシュレッダーダスト相当量	450.3t
委託全部利用したシュレッダーダスト相当量	450.3t
リサイクル施設投入シュレッダーダスト量	3,019.7t
リサイクル施設排出残渣合計	400.1t
委託全部利用排出残渣合計	20.6t
減量されたシュレッダーダスト重量	0.0t
シュレッダーダストとして引取った台数	22,672 台
受託全部利用に引渡した解体自動車台数	2,294 台

ASR再資源化(リサイクル)施設の基準適合状況は、豊通リサイクル(株) <http://www.toyotsurecycle.co.jp/ASR/hikitori.html> を参照下さい。

● エアバッグ類(ガス発生器)

エアバッグ類リサイクル率	94.0%
引き取ったエアバッグ類の総重量	6,298.4kg
引き取ったエアバッグ類のうちその全部、または一部を原材料、または部品その他製品の一部として利用することができる状態にしたものの総重量	5,922.2kg
引き取ったエアバッグ類の個数	52,596 個
そのうち解体業者が取外し回収処理したエアバッグ類の個数	8,603 個
そのうち解体業者が車上作動処理したエアバッグ類の個数	43,993 個
引き取ったエアバッグ類に係る使用済自動車の台数	14,921 台
そのうち解体業者が取外し回収処理した使用済自動車の台数	2,516 台
そのうち解体業者が車上作動処理した使用済自動車の台数	11,447 台
そのうち解体業者が未作動エアバッグ類の一部を取外し回収、残りを車上作動処理した使用済自動車の台数	958 台

● フロン類(CFC=クロロ・フルオロ・カーボン、HFC=ハイドロ・フルオロ・カーボン)

引き取った CFC の量	1,328kg
引き取った HFC の量	5,163kg
引き取った CFC に係る使用済自動車の台数	4,764 台
引き取った HFC に係る使用済自動車の台数	15,336 台

【収支の状況】

	ASR	エアバッグ類	フロン類
資金管理人(財団法人自動車リサイクル促進センター)から払い渡しを受けた再資源化等預託金の総額	225,940(千円)	46,511(千円)	42,279(千円)
再資源化に必要な行為に要した費用の総額	239,991(千円)	35,118(千円)	43,558(千円)

VGJの自動車リサイクル法への取り組みはインターネットホームページ<http://www.volkswagen.co.jp/> を参照下さい。

VGJ公表実績は、フォルクスワーゲンおよびベントレーの実績です。(2006年4月1日～2007年3月31日まで)